

IAEA、福島に事務所

【ダボス＝共同】国際原子力機関（IAEA）の天野之弥事務局長は二十八日、日本政府の要請を受け、福島県内に事務所を設置する考えを明らかにした。東京電力福島第一原発の事故処理や除染に関する情報を世界各国と共有するのが目的で、予算を早急にまとめ、年内にも設置したい意向だ。世界経済フォーラム年次総会が開かれていたダボスで語った。

政府は今年後半に、IAEAとともに、原子力安全に関する閣僚級の国際会議の福島県開催を調整。東日本大震災直後には原発事故や放射性物質

各国と事故処理情報共有へ

の拡散に関して「情報開示が遅い」など内外から批判を浴びており、IAEAの事務所を現地に置き情報共有を進めることで、国際社会に透明性をアピールする思惑もあるとされる。

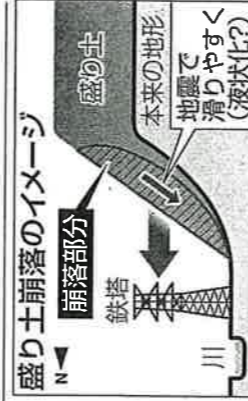
天野事務局長は「除染や使用済み燃料の処理に関してはIAEAの本部で扱って、（福島事務所）の設置で、現地と連絡を密にすることができる」と意義を強調。事務所の名称や具体的な場所など「詳細は今後話したい」としている。

玄葉光一郎外相は二十日、福島県内での会合で、IAEAに対して関連の国際機関を同県内に常設するよう求めていると述べていた。

福島5、6号機の送電塔倒壊

液状化で地崩落が

東大教授分析



の斜面に沿って滑り落ち、小川沿いの低地にあった鉄塔に衝突し倒壊したという。

鈴木教授は「原因究明には現地調査が必要だが、東日本大震災による強い揺れで盛り土が液状化し、地下に埋まっていたものもこの斜面との境目が滑りやすくなった可能性が高い」としている。

東京電力福島第一原発事故で、5、6号機に外部電源を供給していた送電線鉄塔が倒壊したのは、敷地造成の際に谷を埋めた盛り土が液状化などにより崩れたことが原因の可能性が高いという分析結果を、東京大の鈴木雅一教授（砂防工学）がまとめた。

鉄塔隣接地の盛り土の崩落は確認されているが、東電は原因について「調査中」として

「地盤の揺れや液状化への考慮が十分でなかった昭和四十年代（一九六五～七四年）ごろに谷を埋めて造成された宅地斜面なども、崩壊する例が多い」と指摘。当時各地で原発建設が始まっていたこと、他の原発の敷地でも地震による斜面崩落の危険性がないか点検の必要があると話している。

鈴木教授は、過去の航空写真や地図などから福島第一原発の建設

が始まった六十年代後半の鉄塔付近の地形と現在の地形を比較、分析した。

崩壊した盛り土は小川の右岸にあった谷を埋めており、厚さは二十五～三十センチあった。この盛り土はもともと

事務局長意向

【ダボス＝共同】国際原子力機関（IAEA）の天野之弥事務局長は二十八日、日本政府の要請を受け、福島県内に事務所を設置する考えを明らかにした。東京電力福島第一原発の事故処理や除染に関する情報を世界各国と共有するのが目的で、予算を早急にまとめ、年内にも設置したい意向だ。世界経済フォーラム年次総会が開かれていたダボスで語った。

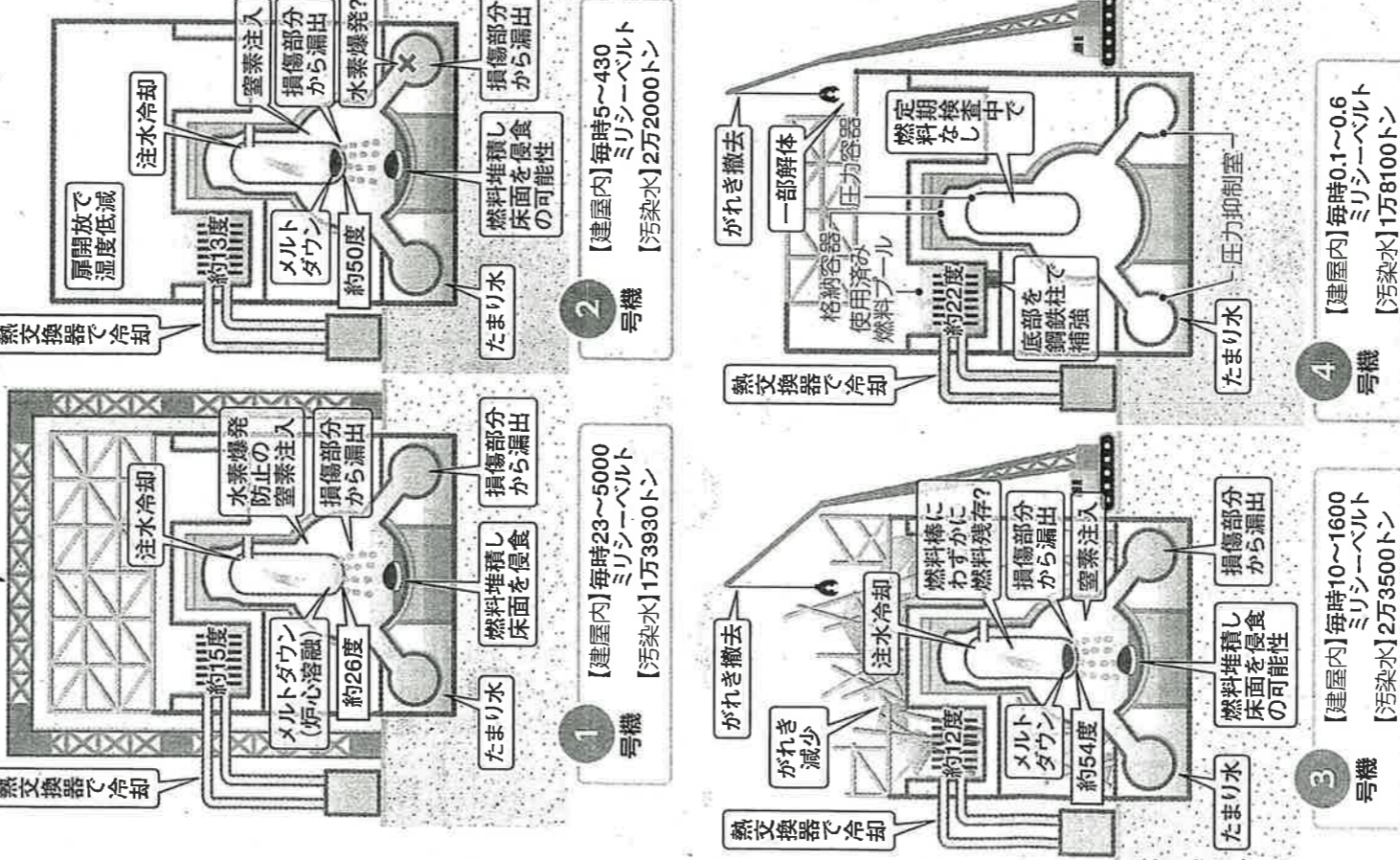
立ち直りつつある

首相ダボス会議TV参加

【ダボス（スイス東部）＝共同】野田佳彦首相は二十八日、スイス東部に開催中のシ

【ダボス（スイス東部）＝共同】野田佳彦首相は二十八日、スイス東部に開催中のシ

福島第1原発の現状



セシウム放出量増加

福島第1作業で堆積分飛散

二十二十八日の一週、福島第一原発からの放出量は合わせて毎時七二〇万ベクレルで、昨年十二月より一〇〇万ベクレル多かった。

2、3号機の厚さ炉建屋内での作業が増え、セシウムの放出量が増えていることが分かった。東京電力の

推定では、1～3号機からの放出量は合わせて毎時七二〇万ベクレルで、昨年十二月より一〇〇万ベクレル多かった。

2、3号機の厚さ炉建屋内での作業が増え、セシウムの放出量が増えていることが分かった。東京電力の

え、床などに積もったセシウムが舞い上がったことが原因という。

これまでセシウムの放出量は順調に減り、現在は事故当初の千百分の一にまで減少。しかし、東電は今後劇的に減らすのは難しい。当面はこの水準が続くと見込んでい

世界貿易機関（WTO）非公式閣僚会合出席とあわせ参加。大震災発生直時に国民に被害状況を伝える菅原長官だった立場から「シヨッキングな事実でも（自分が）落ら着いていると分かる

議事録未作成で指標を検討意向 岡田副総理

岡田克也副総理（公文書管理担当）は十八日、津市で記者会見し、東日本大震災に関する政府会議の議事

議事録未作成を野党が批判していることに関しては「事後の作成もあり得るという法律だから、直ちに違反ではない。ただできるだけ速やかに作るべき

先、官僚主導・中央集権・原発続行」と批判した。運動方針でも、削減など民主・自民両党の歴代政権が実現できなかった政策を最優先課題とした。

みんなの党が党勢回

先、官僚主導・中央集権・原発続行」と批判した。運動方針でも、削減など民主・自民両党の歴代政権が実現できなかった政策を最優先課題とした。

みんなの党が党勢回

新たに配管3カ所汚染水漏れが判明

東京電力は二十八日、福島第一原発、原子炉注水ポンプ付近から一カ所汚染水浄化システムから二カ所の、計三カ所の配管から水漏れが見つかったと発表した。いずれも比較的低濃度の放射性物質を含む汚染水で、漏えい量は計約一七・五リットル。海への流出や原子炉注水への影響はないという。

注水ポンプ付近では金属製の配管がひび割れており、東電は気温の低下による水の凍結と膨張が原因の可能性が高いと推定。主要な配管に保温材を設置する作業を急ぐ。

ほかの二カ所は配管のつなぎ目からで、設置時の締め付け不足などが原因と考えられるという。

村市長との連携を問われ「政治塾は私塾。それはそれで、関係には変わりがない」と話した。

「維新塾と連携を」と橋本市長意向

「大阪維新の会」代表の橋本徹大阪市長は二十八日、愛知県の大村秀章知事が開設する意向の政治塾に関し、「大都市制度は共通政策になると思う」と述べ、維新の会が開く政治塾と連携して政策を協議する意向を明らかにした。市役所で記者団に述べた。

一方で、経済政策な

「大阪維新の会」代表の橋本徹大阪市長は二十八日、愛知県の大村秀章知事が開設する意向の政治塾に関し、「大都市制度は共通政策になると思う」と述べ、維新の会が開く政治塾と連携して政策を協議する意向を明らかにした。市役所で記者団に述べた。

一方で、経済政策な

この本を
読みましょう

アイデア編集部編
仮名で見分けるフォントガイド
もじのみほ



アホア
グループ人材と
石渡領司
山内太地
官邸か
田坂広志

信長、やってくれた
信長、参
鈴木輝一郎

この本を
読みましょう
アイデア編集部編
仮名で見分けるフォントガイド
もじのみほ